

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

2023年2月13日
株式会社加藤製作所



I. 2023年3月期 第3四半期 連結決算概要

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 連結業績サマリー | P.2 |
| 2. 連結業績推移 | P.3-P.4 |
| 3. 連結損益計算書 | P.5 |
| 4. 連結貸借対照表 | P.6 |
| 5. 連結主要品目別売上高推移 | P.7 |
| 6. 連結仕向地別売上高推移 | P.8 |

II. 2023年3月期 連結業績予想

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 2023年3月期 連結業績予想 | P.9 |
|--------------------|-----|

III. 固定資産の譲渡及び特別利益の計上について

P.10

連結業績サマリー



- ▶ 当第3四半期連結累計期間の売上高は、39,362百万円と減収ながら、損益については、主力製品に注力した販売活動や販売価格アップ、既存製品の徹底的なコストダウンへの取り組みが功を奏し、前期に計上した一過性の損失を除いても(以下 () の数値)大幅に改善し、黒字を維持

(単位：百万円)

	前期実績 (2022年3月期 第3四半期)	当期実績 (2023年3月期 第3四半期)	前年同期比
売上高	43,770	39,362	△4,408
営業損益	△5,805 (△1,005) ※一過性の損失を除く	736	+6,542 (+1,741)
経常損益	△5,736 (△936) ※一過性の損失を除く	1,244	+6,980 (+2,180)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△4,698 (102) ※一過性の損失を除く	2,144	+6,842 (+2,042)

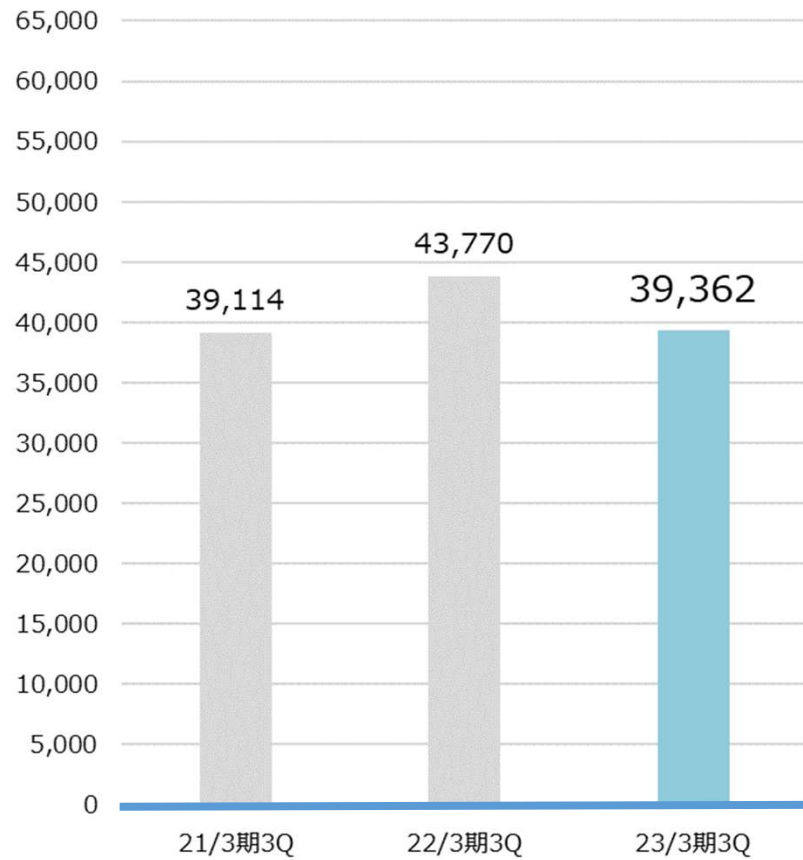
※一過性の損失・・・収益構造改革の一環により計上した損失

連結業績推移

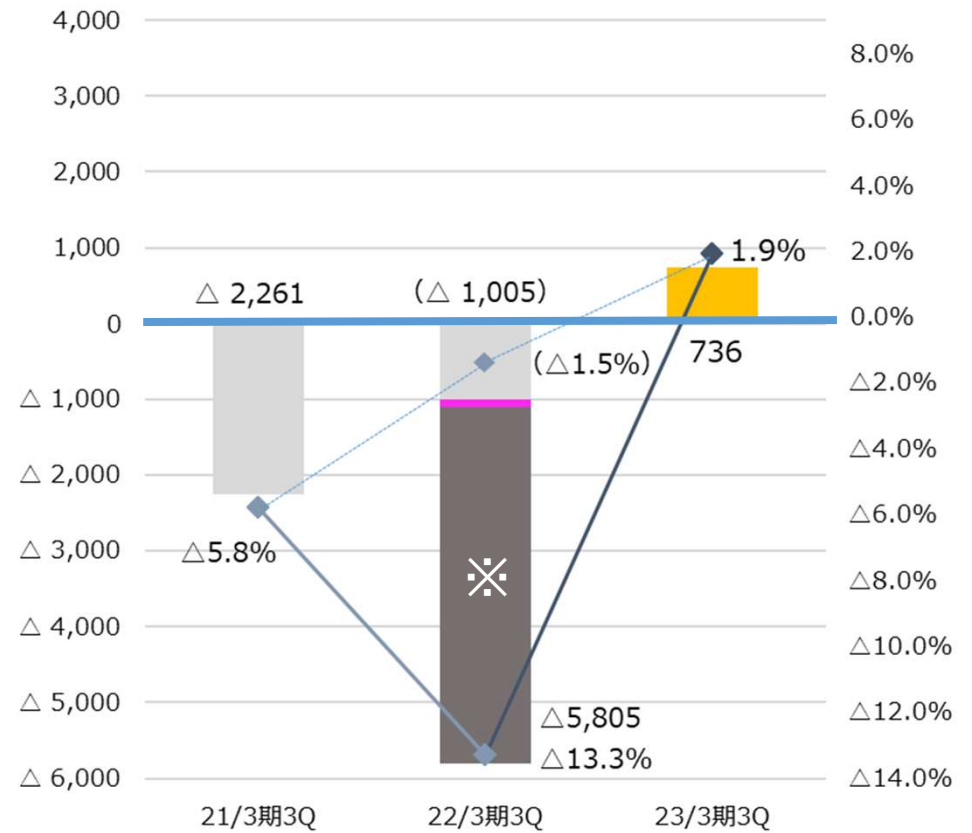


(単位：百万円)

売上高



営業損益・営業損益率



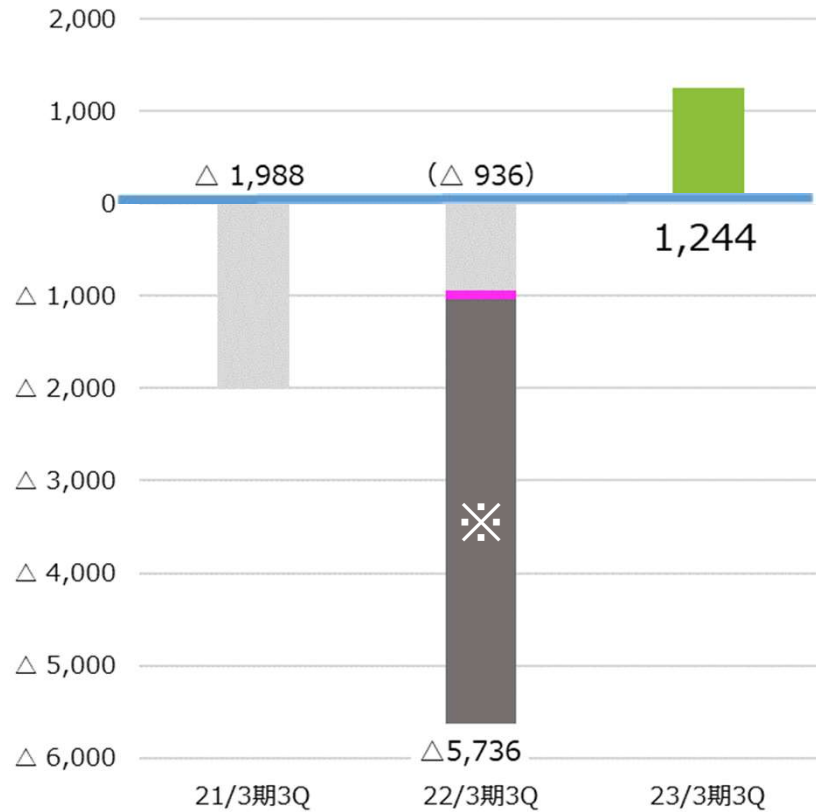
※一過性の損失を計上

連結業績推移

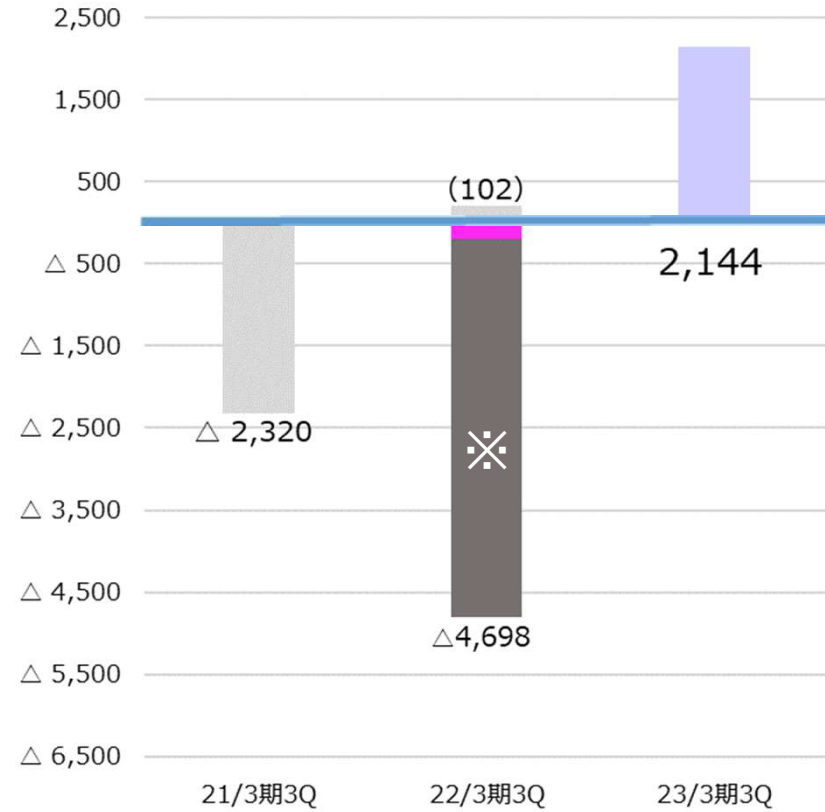


(単位：百万円)

経常損益



親会社株主に帰属する 当期純利益



※一過性の損失を計上

連結損益計算書



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	43,770	100.0%	39,362	100.0%	△ 4,408	△10.1%
売上原価	38,377	87.7%	33,056	84.0%	△ 5,320	△13.9%
売上総利益	5,393	12.3%	6,305	16.0%	912	16.9%
販管費	11,198	25.6%	5,568	14.1%	△ 5,630	△50.3%
営業損益	△ 5,805	△13.3%	736	1.9%	6,542	-
営業外損益	68	0.2%	507	1.3%	438	637.6%
経常損益	△ 5,736	△13.1%	1,244	3.2%	6,980	-
特別損益	1,389	3.2%	932	2.4%	△ 456	△32.9%
税前利益	△ 4,347	△9.9%	2,176	5.5%	6,523	-
法人税等	342	0.8%	23	0.1%	△ 318	△93.1%
非支配株主当期純利益	9	0.0%	8	0.0%	0	△9.4%
親会社株主当期純利益	△ 4,698	△10.7%	2,144	5.4%	6,842	-

▶ 売上原価率/営業利益率の改善

製造コストの削減と販売価格の見直し等による収益性の改善

() 内は一過性の損失を控除した率

売上原価率 87.7% → 84.0%

営業利益率 △13.3% (△1.5%) → 1.9%

▶ 営業外損益の増加

円安による為替差益などにより増加

▶ 特別損益の計上

固定資産の譲渡（茨城県ひたちなか市の土地・建物/2022年10月7日公表）により売却益を計上

連結貸借対照表



(単位：百万円)

		2022年3月期		2023年3月期 第3四半期		前期末比	
		金額	比率	金額	比率	増減額	
資産 の 部	流動 資産	手許資金	18,669	18.2%	19,782	19.7%	1,112
		売上債権	28,340	27.6%	21,858	21.8%	△ 6,482
		棚卸資産	32,070	31.2%	35,408	35.3%	3,338
		その他	△ 1,662	△ 1.6%	△ 693	△ 0.7%	968
		流動資産計	77,417	75.4%	76,355	76.1%	△ 1,062
	固定 資産	有形固定資産	21,185	20.6%	19,759	19.7%	△ 1,425
		無形固定資産	399	0.4%	407	0.4%	8
		投資その他の資産	3,643	3.5%	3,754	3.7%	110
		固定資産計	25,228	24.6%	23,921	23.9%	△ 1,306
	資産合計		102,645	100.0%	100,276	100.0%	△ 2,369
負債 ・ 純 資産 の 部	負債	仕入債務	13,159	12.8%	13,677	13.6%	518
		有利子負債	40,230	39.2%	36,010	35.9%	△ 4,219
		その他	5,010	4.9%	4,016	4.0%	△ 993
		負債計	58,400	56.9%	53,704	53.6%	△ 4,695
	純 資産	利益剰余金	28,495	27.8%	30,532	30.4%	2,036
		評価換算差額等	4,640	4.5%	4,784	4.8%	144
		その他	11,109	10.8%	11,255	11.2%	145
		純資産計	44,245	43.1%	46,571	46.4%	2,326
		負債・純資産計	102,645	100.0%	100,276	100.0%	△ 2,369

➤ 売上債権の減少

28,340百万円 → 21,858百万円
 ※ 売上債権回転期間は改善
 (22/3月期 : 162.8日
 23/3月期3Q : 152.0日)

➤ 棚卸資産の増加

32,070百万円 → 35,408百万円
 ※ 棚卸回転期間は売上減少により悪化
 金額については部品不足の影響で仕
 掛品等が増加
 (22/3月期 : 184.1日
 23/3月期3Q : 246.3日)

➤ 有利子負債の減少

40,230百万円 → 36,010百万円
 ※ 長期借入金の一部返済により減少

連結主要品目別売上高推移

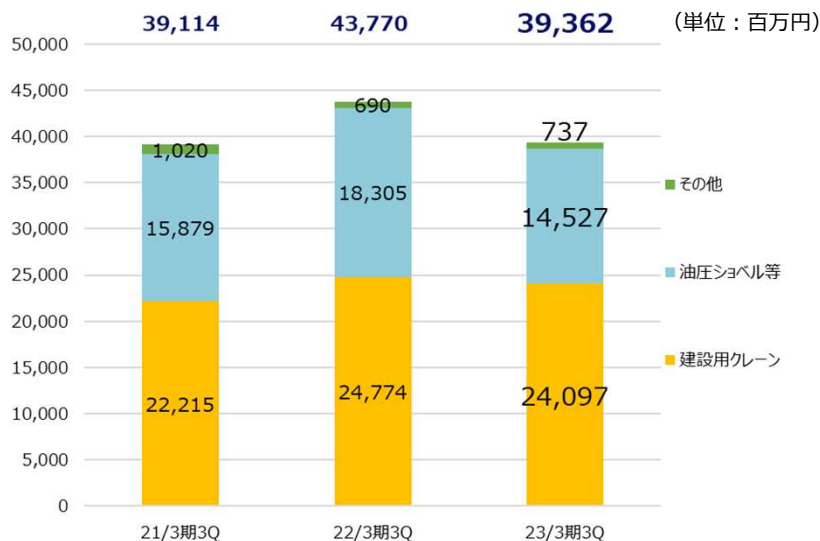


(単位：百万円)

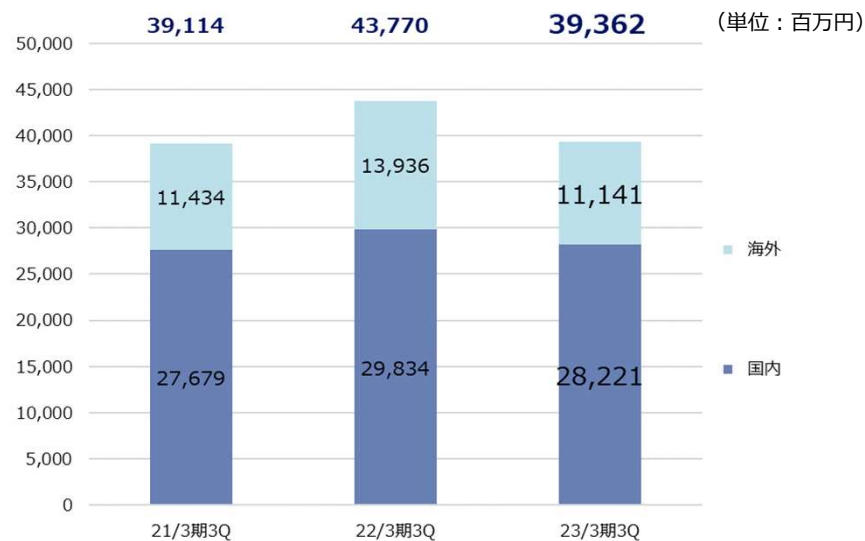
	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
建設用クレーン								
国内売上高	19,168	49.0%	20,319	46.4%	21,504	54.6%	1,184	5.8%
海外売上高	3,046	7.8%	4,454	10.2%	2,592	6.6%	△ 1,862	△ 41.8%
計	22,215	56.8%	24,774	56.6%	24,097	61.2%	△ 677	△ 2.7%
油圧ショベル等								
国内売上高	7,490	19.2%	8,841	20.2%	5,979	15.2%	△ 2,861	△ 32.4%
海外売上高	8,388	21.4%	9,464	21.6%	8,547	21.7%	△ 916	△ 9.7%
計	15,879	40.6%	18,305	41.8%	14,527	36.9%	△ 3,777	△ 20.6%
その他								
国内売上高	1,020	2.6%	673	1.5%	736	1.9%	63	9.5%
海外売上高	0	0.0%	17	0.0%	0	0.0%	△ 16	△ 94.2%
計	1,020	2.6%	690	1.6%	737	1.9%	47	6.9%
合計								
国内売上高合計	27,679	70.8%	29,834	68.2%	28,221	71.7%	△ 1,612	△ 5.4%
海外売上高合計	11,434	29.2%	13,936	31.8%	11,141	28.3%	△ 2,795	△ 20.1%
計	39,114	100.0%	43,770	100.0%	39,362	100.0%	△ 4,408	△ 10.1%

生産活動は、サプライチェーン混乱の影響を受け、生産機種を選別をせざるをえず、収益性・受注状況を勘案し、受注残を多く抱える国内クレーン、欧米向け油圧ショベルを優先。
結果、国内建設用クレーンの売上高は、販売価格の見直しも含め前年同期比増、海外油圧ショベル等の売上高は欧米が伸長するも中国の需要減により前年同期比9.7%の減収。

主要品目別売上高推移



国内外売上高推移



連結仕向地別売上高推移（日本除く）



（単位：百万円）

	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前年同期比		総売上高構成比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
アジア	7,854	68.7%	7,679	55.1%	3,825	34.3%	△ 3,853	△50.2%	9.7%
中近東	24	0.2%	252	1.8%	373	3.3%	120	47.9%	0.9%
欧州	2,305	20.2%	3,442	24.7%	3,500	31.4%	58	1.7%	8.9%
オセアニア	173	1.5%	670	4.8%	571	5.1%	△ 98	△14.7%	1.5%
アフリカ	17	0.2%	14	0.1%	70	0.6%	55	377.6%	0.2%
北米・中南米	1,059	9.3%	1,877	13.5%	2,799	25.1%	921	49.1%	7.1%
海外売上高合計	11,434	100.0%	13,936	100.0%	11,141	100.0%	△ 2,795	△20.1%	28.3%

（単位：百万円）

▶ アジア（前年同期比△50.2%）

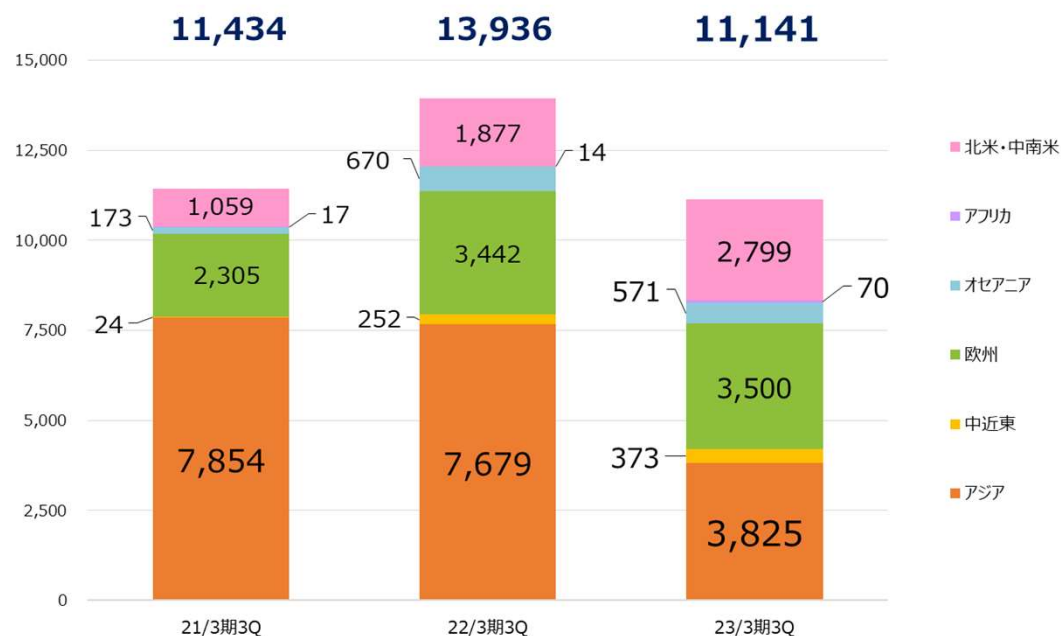
中国市場の需要低下が継続し大幅減少
7,679百万円 → 3,825百万円

▶ 欧州（前年同期比1.7%）

受注残があるもののサプライチェーンの混乱
影響もあり微増
3,442百万円 → 3,500百万円

▶ 北米・中南米（前年同期比49.1%）

米州市場の活況により増加
1,877百万円 → 2,799百万円



2023年3月期 連結業績予想



国内における部品の供給遅延に伴う生産への影響や、中国市場における建設需要の落ち込みは当面の間は継続するものと見込んでおり、売上高については2022年11月10日公表の通期連結業績の予想数値を下回る見込みです。

一方で損益面については、売上高の減少による影響や、原材料の高騰・部品不足に伴う工場稼働率の低下による原価の上昇があったものの、中期経営計画に掲げた「収益性改善・強化」の各施策が奏功したことや為替の影響もあり、同予想数値を上回る見込みです。

(単位：百万円)

	2022年3月期実績	2022年3月期 (一過性要因除く)	2023年3月期 (2022.11/10公表)	2023年3月期 (2023.2/13公表)
売上高	63,549	63,549	60,500	57,000
売上原価率	89.6%	87.8%	86.8%	84.9%
営業利益	▲7,222	▲967	100	500
営業利益率	▲11.4%	▲1.5%	0.2%	0.9%
経常利益	▲6,929	▲674	400	900
親会社株主帰属 当期利益	▲9,575	226	1,000	1,500
棚卸資産	32,070	32,070	33,470	33,500

固定資産の譲渡及び特別利益の計上について



進化の奥の更なる真価へ

- 当社の連結子会社であるKATO WORKS(THAILAND)CO.,LTDが保有する固定資産についての譲渡を決議しました

	会社概要
名称	KATO WORKS (THAILAND) CO.,LTD.
所在地	タイ王国 ラヨン県
代表者の役職・氏名	石丸 靖 (現当社執行役員 総務人事統括部長)
事業内容	建設機械の製造、販売
資本金	12億バーツ(約40億円)
資産の内容及び所在地	・土地 (約140,234㎡) タイ王国ラヨン県ブルワックデー郡アマタシティラヨン工業団地 ・主要建設物 (鉄骨造・地上2階/延べ床面積 約21,867㎡)
帳簿価格	1,015百万円
譲渡益	約1,171百万円
譲渡の日程	2023年7月及び9月予定

- 譲渡の理由

→ 当該子会社は、既に事業活動を停止しており、現在は解散及び清算に向けた手続きを進めております。当社では経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため、当該子会社が保有する固定資産の適切な処分方法について検討を重ねていたところ、このほど購入希望先との間で条件面での合意が図れたことを受け、譲渡を決議いたしました。

- 今後の見通し

→ 当該子会社は12月決算のため本取引にて発生する特別利益については2023年5月に公表を予定している2024年3月期の当社連結業績予想に織り込む予定です。従いまして、本取引に伴い2023年3月期の連結業績への影響はございません。

本資料に記載されている現在の計画や今後の見通しに関する内容につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、計画・予想したものであります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのため、本資料におきましては、その実現を確約あるいは保証するものではありません。

お問合せ先

株式会社加藤製作所
総務部 IR担当

〒140-0011 東京都品川区東大井1-9-37
E-Mail:ir-kato@kato-works.co.jp